オンラインで都市との交流【山都町東京事務所※だより】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により地方への移住志向が高まる中、山都町への移住を検討している方が増えています。都市居住の方へ対話を通して山都町の魅力、生活のイメージを持ってもらうため、オンラインでの交流会を行いました。

有機農業、起業、第二の人生、子育ての４つのテーマを設定し、魅力あるパネラーがそれぞれの経験を語り、参加者からの質問に答える形で進行しました。

都市居住者と町の関係者合わせて 35 人の参加でしたが、中にはニュージーランドから参加された方もいらっしゃいました。

全国の自治体が都市居住者の移住誘致を一気に加速している中、山都町の特色となる有機農業やジビエを前面に立てた交流会は、山都町の魅力を知っていただくきっかけとなりました。交流会後も新規就農者への支援制度のご質問や、「地域おこし協力隊に応募してみたい」等の声をいただきました。

山都町では山都町東京事務所と共に今後もオンラインを活用し、都市との交流を活発に行って山都町を世界へ発信していきます。２月７日には『アウトドア』をテーマにしたオンラインセミナーを発信します！詳しくは山都町ホームページ、公式ＳＮＳ等でお知らせします。

また、セミナーは YouTube『【公式】山都町山の都創造チャンネル』より発信する予定です。町の観光の魅力を伝える動画や移住定住のＰＲなどを世界中に配信中です。是非ご覧ください。

山の都創造チャンネル　検索

10 月 22 日に行ったオンライン交流会【夜カフェ☆山都町オープン！】のようす

※山都町東京事務所・・・平成 30 年に東京都に設置した交流拠点。人口減少に歯止めをかけるべく、交流人口の増加や将来的な移住・定住者の促進等に向けた取り組みを行い、山都町の情報発信を行っています。

問合せ先　　山の都創造課　☎ 72-1158

そのパスワード、入力しても大丈夫？

新型コロナウイルス感染防止対策のため、人と接触しないインターネットによるWEB通販サイト（ネットショップ）やオークション、インターネットバンキングの利用が増えていませんか？

WEB通販サイト等は営業時間や休業日がないことから、時間や場所を問わずにパソコンやスマートフォンがあれば簡単に購入したい商品を買うことができ、更に購入した商品を配送業者が自宅や指定した場所へ届ける便利なサービスです。

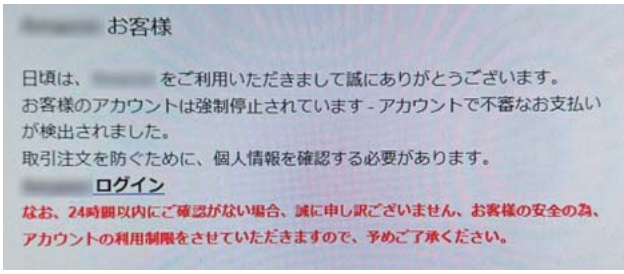
一方で便利な反面、利用する上で実在の企業からのメールやウェブページを装い、利用者のユーザーIDやパスワード、クレジットカード番号といった個人情報を盗み出す「フィッシング詐欺」に気をつける必要があります。

今回は、「フィッシング詐欺」についてご説明します。

1．フィッシング詐欺の主な手口は?

1 電子メールで偽サイトに誘導

典型的な手口としてWEB通販サイトやクレジットカード会社、銀行を装ったメールを送り、「個人情報が漏洩した可能性がある」や「カードの期限切れ」、「アカウントの更新のため」等、緊急の対応を迫り、利用者に時間的余裕（冷静な判断）を与えないことで、リンクをクリックさせ、本物のサイトにそっくりな偽サイトに利用者を誘導します。そこで利用者へクレジットカード番号や口座番号などを入力させ、個人情報や金銭を得る詐欺行為があります。


[redacted] お客様

日頃は、[redacted] をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
お客様のアカウントは強制停止されています - アカウントで不審なお支払いが検出されました。
取引注文を防ぐために、個人情報を確認する必要があります。
[redacted] ログイン
なお、24時間以内にご確認がない場合、誠に申し訳ございません、お客様の安全の為、アカウントの利用制限をさせていただきますので、予めご了承ください。

（実際のＷＥＢ通販サイトを装った詐欺メール）

2 SNSからの情報でフィッシングサイトに誘導

SNSで公式アカウントを装った「なりすましアカウント」を作成し、利用者を巧みに誘導することで、ユーザーIDやパスワードを搾取する手口です。（SNSについては「広報やまと11月号」に掲載。）更に盗み出したユーザーIDやパスワードを使用して（乗っ取り）他の利用者に偽サイトへ誘導するメール等を送信したり、SNSに本人を装った偽サイトのURLを載せた記事を投稿することで被害が拡大していきます。

2．被害にあわないためには？

➡不審なメールが来たら、リンク先を不用意にクリックせず、日頃から利用するサービス（WEB通販の公式サイトやスマホの公式アプリ）からアクセスし、確認や問い合わせをする。

➡メールの真偽に迷ったら、インターネットで検索。

➡友人や知人から普段送ってこないようなメールの内容がきたら、被害にあっている可能性もあるため、電話等で友人や知人に直接確認する。

3．誤ってパスワードを入力してしまったら？

●ログイン情報を入力してしまったら、直ぐにパスワードを変更する。なお、変更されていたら、パスワードの再発行を行う。

●口座情報やクレジット番号を入力してしまったら、金融機関やクレジット会社へ連絡し、利用を停止する。（普段から金融機関やクレジット会社の連絡先を把握しておくことをお勧めします。）

情報や金銭を得ようとする犯罪の手口はますます巧妙化・複雑化していますが、最新の脅威を知り、詐欺に対して備えることで、危険を回避することが可能です。

危険だから便利なサービスを利用しないのではなく、正しい知識とルールを身につけ、インターネットを楽しみましょう。